

対敵と仏法

2013年9月28日(土) 13:00~17:30

早稲田大学 小野記念講堂

開催趣旨

本シンポジウムは、科研費基盤研究(A)「文明移動としての『仏教』からみた東アジアの差異と共生の研究」の一環として開催される。このたびは、仏教が社会に浸透し、展開していく歴史のなかで、その実践的な「法」がどのような役割を担ったのかを考えてみたい。見失われた、あるいは隠された側面へのアプローチである。

プログラム

- | | | |
|----------------|-------|--|
| 13:00~13:10 | 趣旨説明 | 新川 登亀男 (早稲田大学) |
| 13:10~13:50 | 《報告1》 | 大島 幸代 (龍谷大学龍谷ミュージアム)
退敵の毘沙門天像と土地の靈験説話
— 唐後半期における像への眼差しの変遷 — |
| 13:50~14:30 | 《報告2》 | 三上 喜孝 (山形大学)
古代の境界世界における対敵と仏法 |
| 14:30~15:10 | 《報告3》 | 長坂 一郎 (東北芸術工科大学)
羽黒権現・軍荼利明王の成立について
— 行者守護から異敵調伏へ — |
| 休憩 | | |
| 15:20~16:00 | 《報告4》 | 黒田 智 (金沢大学)
勝軍地蔵の八〇〇年 |
| 16:00~16:40 | 《報告5》 | 長岡 龍作 (東北大学)
「対敵」の精神と仏像の役割
— 古代日本の事例に着目して — |
| 休憩 | | |
| 16:50~17:30 | 総合討論 | 司会 肥田 路美 (早稲田大学) |

参加無料・事前予約不要

使用言語: 日本語

主催: 科研基盤(A)「文明移動としての『仏教』からみた東アジアの差異と共生の研究」(代表: 新川登亀男)

お問い合わせ: 科研基盤(A)「文明移動としての『仏教』からみた東アジアの差異と共生の研究」事務局

〒162-8644 東京都新宿区戸山 1-24-1 早稲田大学戸山キャンパス 36号館 8階アジア地域文化学コース室内
asiab@list.waseda.jp